

ドナルド・マクドナルド・ハウス 京都

建設概要

1. 施設名: ドナルド・マクドナルド・ハウス 京都(略称: 京都ハウス)
2. 場所: 京都市上京区御車道通清和院口上る東側梶井町447の一部
3. 建物規模: 延床面積 約1,200㎡
4. 施設概要: ベッドルーム18室
共有スペース(キッチン、リビング、ダイニングルーム、ランドリー、プレイルーム、図書室他)
5. 利用対象者: 京都府立医科大学附属病院・京都大学医学部附属病院等に入院・通院する
患儿とその家族
6. 建築スケジュール(予定):
2025年2月～ 2025年5月 入札手続き
2025年6月～ 2026年6月 設計・建築工事
2026年7月～2026年10月 開設準備
7. 開設時期: 2026年10月(予定)
※寄附の状況等に応じて前後します。

ドナルド・マクドナルド・ハウスとは?

お家から遠く離れた病院に入院・通院している子どもとそのご家族のための「第二のわが家」。子どもの治療に付き添うご家族のための滞在施設です。

もしも子どもが病気になったら・・・

子どもが病気になったとき、ご家族はなによりもまず、子どもに最善の治療を受けさせよう! と考えるもの。でも、もしもその病院が自宅から遠い場所にあったら・・・

ご家族の負担は精神的にも肉体的にも、そして経済的にも大きなものになってしまいます。そんな時、親は自分のことなど二の次で、子どもの治療に付き添うために、何日も病院のソファや簡易ベッドで寝たり、三食を簡単な弁当で済ませたり。そのうえ、遠く離れた自宅に残してきた家族のことも心配しなくてはならないのです。ドナルド・マクドナルド・ハウスは、このようなご家族をサポートするために生まれました。

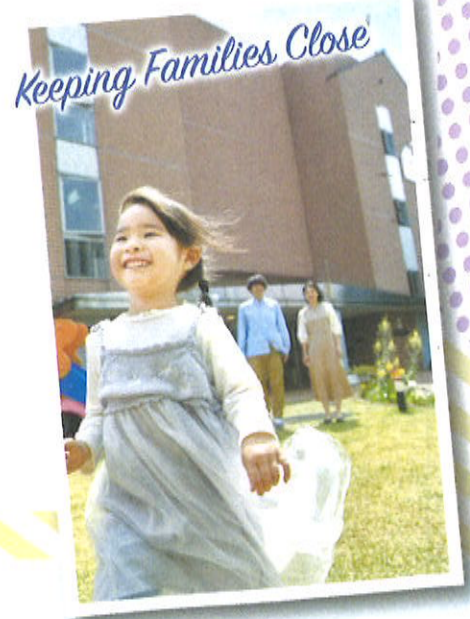
コンセプトは「わが家のようにくつろげる第二の家。」

病気の子どもの付き添うご家族が、自宅にいるようにゆったりと過ごせること、それがハウスの願いです。

ハウスでは、日常生活がスムーズにおくれるように、自炊ができるキッチンやリビング、ダイニング、ランドリーやプレイルームを完備し、プライバシーを守れるように配慮したベッドルームもご用意しています。

費用については、ご家族の負担を考え、1人1日1,000円で利用できるようになっています。

“Keeping Families Close” どんな時でも家族と一緒にいられるように。それがハウスの願いです。



利用されたご家族の声

「自分だけじゃないんだ」と、
感じられた場所

佐藤 奈津さん



数え切れない入退院

幹汰は生まれたときから入退院の連続で、これまで14回の手術を受けてきました。ハウスを利用させていただくまでは、普通のアパートのような宿泊施設を利用していました。



母親同士の会話が救いに

本音を言うと、利用しはじめの頃は、共用スペースがあることに少し抵抗があったんです。食堂などで他のご家族と一緒に became とき、お互いに気を遣ってしまわないかなって。でも、同じ境遇のお母さんたちと何気なく会話することで、「自分だけじゃないんだ」と前向きな気持ちになっていきました。



「お帰りなさい」の一言で

ボランティアの皆さんが、いつも「お帰りなさい」と迎えてくれるから…疲れて帰ってきた日も、人の優しさに触れて、元気をもらいましたね。夜、寝かしつけるまで面会して、一緒に笑顔でいられる時間が増えたので、幹汰も安心してきているようでした。

